

平成 29年度事業報告書

テーマ：地域に開かれた法人として関わりを深め、安心した暮らしの支援

サブテーマ：医療機関との連携により、安全で安心した医療を提供する

部署名： みくにの森クリニック

- <概要>
1. 多職種、協力病院との連携を図り、入所者の異常の早期発見・対応ができた。
 2. 医師不在時の対応と可能な医療を明確にし、家族の理解を得ることができた。
 3. 外来診療として、予防接種、健康診断、グループホームの外来診療を実施することができた。
 4. 産業医との連携を図り、職員の健康管理、環境管理を行うことができた。

- <総括>
1. 医務室看護師協力のもと、多職種との連携を図り、異常を早期に発見し対応することができた。体調不良時には早めに家族に病状説明を行い、入院者の減少、家族からの信頼関係も深まった。協力病院の地域連携室との連携を図り情報交換を行うことで、受診、入退院がスムーズに行えた。
 2. 入所時に施設でできること、できないことを説明し理解を得た。また、医師の配慮により、計画的に入所者全員にムンテラを行い、家族との信頼関係も深まった。
 3. 外来診療として、インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンなどの予防接種やグループホームの外来診療、キッズの森利用児の健康診断を年2回行った。外来患者の増数は見込めなかったが、職員の受診が増え、外来の収入安定に繋がった。
 4. 年2回の健康診断実施、健康相談に応じ、異常者の再検査や受診を勧めた。
衛生管理委員会では、産業医が主導となり職員の健康管理、環境管理を行った。